

1 研究主題

児童と共につくるベースボール型の授業モデルづくり ～ベースボール5を基にした簡易化されたゲームを通して～

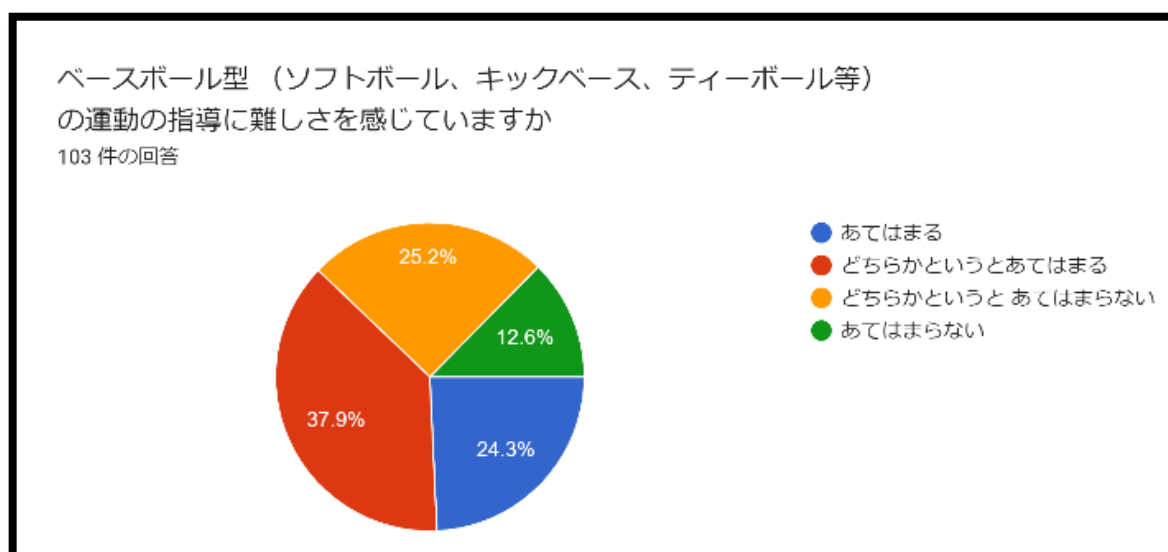
2 主題設定の理由

(1) 教員の実態から

八街市の教員103名を対象に、体育科の学習指導についてアンケートを行った。「体育の指導に難しさを感じていますか」という質問に対して、75%の教員が「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答している。その中でも、ボール運動領域に難しさを感じている教員が58%であった。また、「ベースボール型の運動の指導に難しさを感じていますか」という質問に対し、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した教員が62%であった。【図1】指導の難しさを感じている理由として、ボールを持ったときの動きや判断、ルール複雑さが挙げられた。ベースボール型の運動の指導を充実させるうえで重視したいこととして、「ルールに関わること」が70%と最も高かった。「どのようなベースボール型の授業であれば指導がしやすいと思いますか」という質問に対しては、「ルールの簡略化」という回答が多く挙げられた。また、指導に対する達成感や充実感を得られるときは、「子どもたちがルールを理解して試合をしているとき」という意見が多く、ルールを理解して試合に取り組んでいる姿が見られるときなどに達成感や充実感を得られることが分かった。

以上のことから、ベースボール型の学習において「ルールの複雑さ」という点が課題であると捉えた。その点に関して有効な手立てを講じることができれば、ベースボール型の学習への困難さを解消することができる考えた。

【図1】

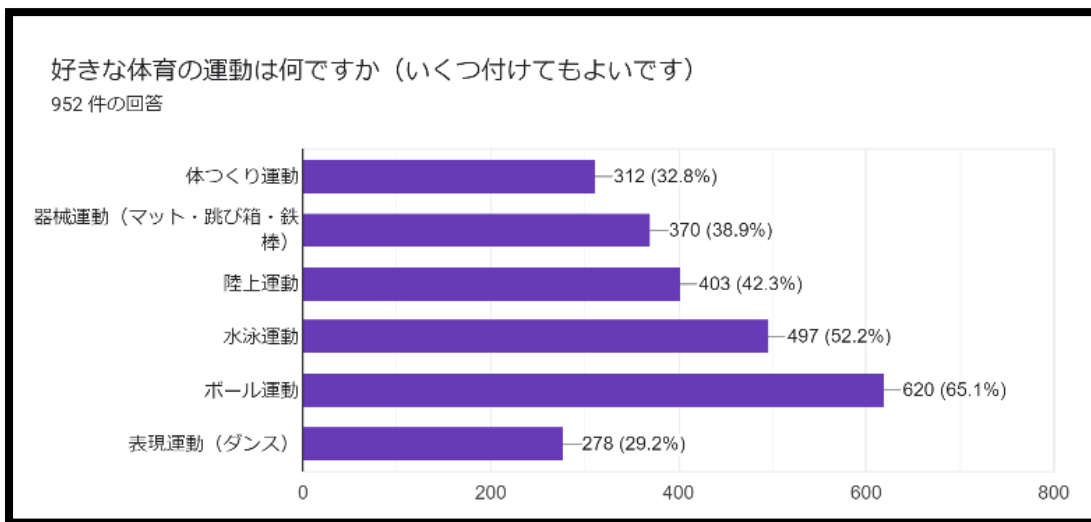


(2) 児童の実態から

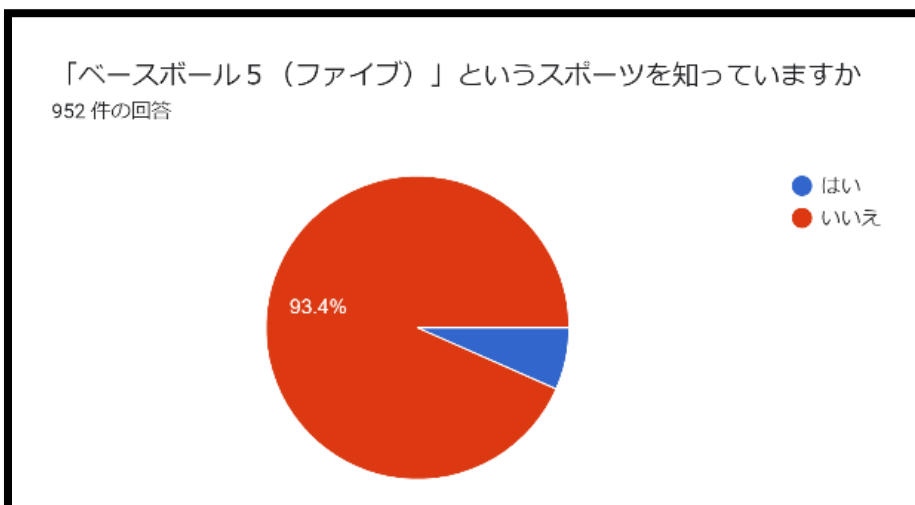
市内の5・6年生の児童952名を対象に体育科の学習についてアンケートを行った。アンケートによると、「ボール運動」が好きな児童が65%と最も高いことが分かった。【図3】ベースボール型の学習の中で楽しいと感じる理由についての自由記述では、「打てたときに楽しい」「チームのみんなと協力できたとき」などの答えが多かった。一方で、「ベースボール型の学習で、どんなときに楽しくないと感じますか」の質問に対する自由記述では、「ボールを打つことが難しい」「ルールが分からない」などが挙げられた。ベースボール5についてのアンケートを行ったところ、ベースボール5自体を知っている児童は、7%と非常に少ないことが分かった。【図4】

ベースボール5は、野球やソフトボールを楽しむ前のきっかけとして、気軽にプレーできるように生まれた野球の魅力が詰まったスポーツである。しかし、そのままのルールでは小学生には難しい。そこで、ベースボール5を基にした簡易化されたゲームを通して、児童と共につくるベースボール型の授業モデルづくりを目指して本主題を設定した。

【図3】



【図4】



3 研究仮説

仮説1

ルールを工夫することで攻防のバランスが取れ、だれもが楽しくゲームに参加することができるだろう。

○だれもが楽しくゲームに参加することができるように、特別ルールを設定する。

仮説2

役割やルールを確認し、場面ごとの動きを身に付けることができれば、より一層楽しさや喜びが高まるだろう。

○ルールを理解しやすくするために、ICT 機器や掲示物、ワークシートを活用する。

○役割やルールを確認し、場面ごとに想定をしたタスクゲームを行うことで、個々の動きを習得できるようにする。

4 研究計画

年度	月	研究内容
令和6年度	4月	研究主題決定、アンケート内容決定
	5月	アンケートの配付・実施・集計
	6月	研究仮説決定、紙上提案用資料作成開始
	7月	資料完成、理論研究
	8月	紙上提案、授業内容検討
	9月	授業内容決定
	11～3月	授業実践
令和7年度	4～5月	授業実践の考察
	6～7月	研究のまとめ、提案資料作成
	8月	研究発表